

有限会社武田商店 環境経営レポート

(対象期間 2024年1月～2024年12月)



目 次

1. 組織の概要,対象範囲	1頁
2. 実施体制	3頁
3. 環境経営方針.....	4頁
4. 環境経営目標及び環境経営目標の実績.....	5頁
5. 環境経営計画及び実施状況.....	6頁
6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容.....	7頁
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	8頁
8. 代表者による全体評価と見直し・指示	9頁

発行2025年3月31日

1. 組織の概要,対象範囲

1. 組織の概要

1) 名称及び代表者名

有限会社武田商店

代表取締役社長 武 田 稔

2) 所在地

本社 神奈川県相模原市南区相模台 7-34-10-102

車両基地 神奈川県相模原市南区新磯野 319

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 武 田 俊 広

担当者 武 田 豊

TEL: 042-742-9660 FAX: 042-742-9688

E-Mail: takeda501@clock.ocn.ne.jp

4) 事業活動内容

再生資源回収及び産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬

一般貨物運送業・古物商

5) 事業の規模

		2023年	2024年
売上高(百万円)		198	207
収集 運搬量 (kg)	産業廃棄物	7,895	11,414
	一般廃棄物	3,916,511	3,834,350
	再生資源	1,862,991	1,608,055
従業員数(人)		24	23
本社事務所等(m ²)		49.17	49.17
車庫・倉庫面積(m ²)		990	990

6) 事業年度 1月～12月

7) 情報公表項目

(1) 法人設立年月日: 平成8年3月

(2) 資本金: 800万円

(3) 許可の内容:

許可地区、許可番号、許可区分、廃棄物の種類、(許可年月日、許可の有効年月日)

許可地区	許可区分	許可番号
	廃棄物の種類	許可年月日
		許可の有効年月日
東京都	産業廃棄物収集運搬業	13-00-045210号
	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	令和5年3月13日
		令和10年3月12日
神奈川県	産業廃棄物収集運搬業	1402045210
	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	令和4年1月6日
		令和9年1月5日
町田市	一般廃棄物収集運搬業	第102号
	紙くず、木くず、繊維くず、厨芥	令和6年4月1日
		令和8年3月31日
相模原市	一般廃棄物収集運搬業	相許可第A0111号
	事業系一般廃棄物(ごみ)、家庭系臨時(ごみ)	令和5年7月4日
		令和7年7月3日
大和市	一般廃棄物収集運搬業	大和市許可番号第 222号
	ごみ	令和6年4月1日
		令和8年3月31日

(4) 施設状況:

収集運搬業: 運搬車両の種類と台数

収集運搬車両	台数
・パッカー車(3t)	7台
・パッカー車(2t)	1台
・キャブオーバー(3t)	3台
・キャブオーバー(2t)	10台
・コンテナ専用車	1台
・軽貨物	1台
・営業車	1台

積替保管施設 なし

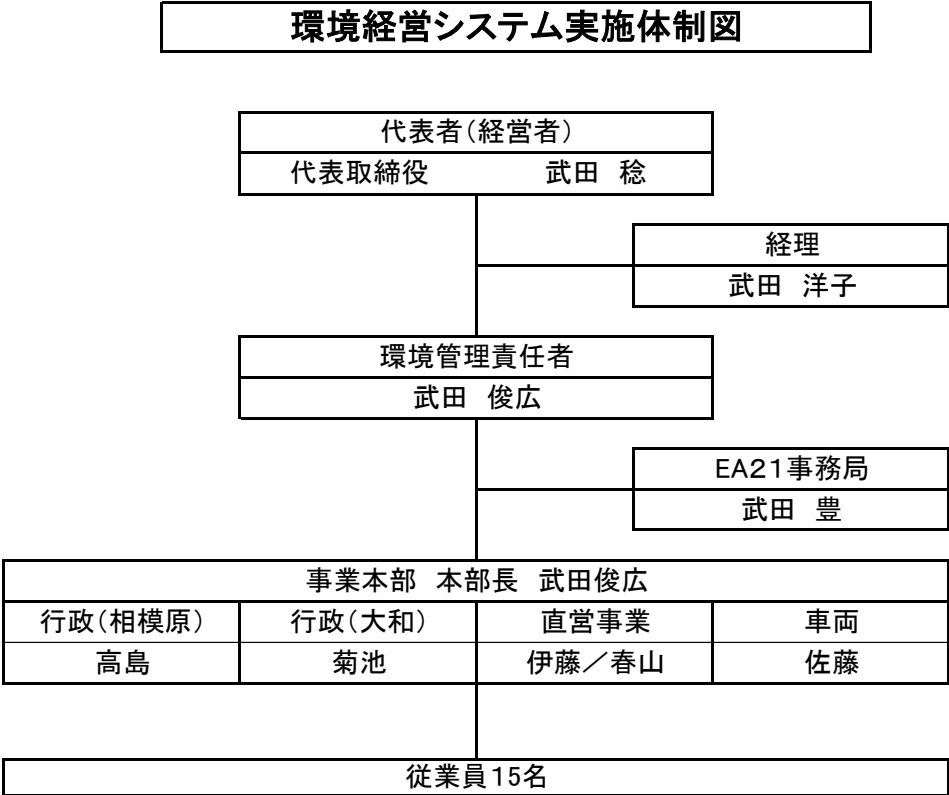
(5) 処理実績: 環境への負荷の自己チェック、別表4.受託、または受領した廃棄物、再生資源等の処理量等

事業年度	種類		収集運搬量(kg)
2023年度	産業廃棄物 (木くず、廃プラ、蛍光灯、乾電池)		7,895
	一般廃棄物 可燃ごみ	事業系	848,420
	一般廃棄物 資源ごみ (紙類、ペットプラ、金属、 ガラス、布、混合等)	家庭系 (委託)	3,068,091
	再生資源 (紙類、金属、ガラス、布)		1,862,991
2024年度	産業廃棄物 (木くず、廃プラ、蛍光灯、乾電池)		11,414
	一般廃棄物 可燃ごみ	事業系	839,140
	一般廃棄物 資源ごみ (紙類、ペットプラ、金属、 ガラス、布、混合等)	家庭系 (委託)	2,995,210
	再生資源 (紙類、金属、ガラス、布)		1,608,055

2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

- 1) 対象組織 (1. 2) 所在地」欄に記載
- 2) 活動 (1. 4) 事業活動内容」欄に記載
- 3) レポートの対象期間及び発行日
レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載。

2. 実施体制図



役割、責任及び権限表	
対象者	役割、責任・権限
代表者	・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する。 ・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する。 ・環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)の用意する。 ・環境経営全体の取組状況及び効果を評価し、総括的見直しを実施し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 ・全社組織へのEA21活動実施の統括 ・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 ・内外環境コミュニケーションへの対応 ・問題点の是正処置の統括
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐 ・EA21活動に関する事務
部門責任者	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知 ・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ ・問題点の是正処置、予防処置の実施
従業員	・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 ・EA21活動に関する提案

3. 環境経営方針

環境経営方針

【基本理念】

当社は環境の改善が企業の社会的責任であると深く認識し、廃棄物の収集運搬を適正に効率よく行うこと及び廃棄資源物を再生資源として利用できるようにする事業活動を通じ循環型社会の形成に貢献するとともに、企業価値向上と従業員の幸福を追求します。



【環境行動指針】

1. 当社は、環境関連法規等を遵守し、環境経営の継続的改善に取り組みます。
2. 環境への取組の重点分野を明確にし、環境経営目標を設定し取り組みます。



1) 二酸化炭素排出量削減

- ① エコドライブに努め、化石燃料の使用量を削減し、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
- ② 照明設備、空調設備等の効率的な運用により、使用エネルギーの削減に取り組みます。

2) 廃棄物排出量削減

- ① 事業所で発生する廃棄物排出量の削減に取り組みます。
- ② 排出される廃棄物の分別徹底とリサイクルを促進に努めます。

3) 水使用量削減

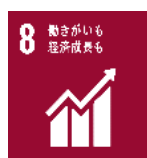
- ① 手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行します。

4) 受託した廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮

- ① 廃棄物の回収業務の効率化に取り組みます。
- ② 収集運搬車両の燃費向上に取り組みます。

3. 環境教育の充実

- ① 技能伝承教育と環境教育を定期的 to 実施致します。



この環境方針を全社員に周知し、一般にも公開します。

2024年1月1日
有限会社武田商店
代表取締役 武田 稔

4. 環境経営目標及び環境経営目標の実績

No	環境方針項目		基準値(特記以外は 2018年度基準)	CO2 換算係数	年 度 目 標			中期目標		
					2024年1～12月			2025 年度	2026 年度	
					目標	実績	評価			
1	二酸化 炭素排 出量の 削減	電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 5 %削減		×	基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 5 %削減	
			6,017	0.462	5,716	7,279		5,716	5,716	
			kWh	(東電)	kWh／年以下			kWh／年以下	kWh／年以下	
		化石燃料 使用量 の削減(2019年10～12 月基準)	油種別消費量		基準値に対し 4 %削減			基準値に対し 4 %削減	基準値に対し 4 %削減	
			灯油 <L>	2.49	134	201	×	134	134	
			140		L／年以下			L／年以下	L／年以下	
			ガソリン <L>	2.32	1,947	1,912	○	1,947	1,947	
			2,028		L／年以下			L／年以下	L／年以下	
			軽油 <L>	2.58	49,701	54,130	×	49,701	49,701	
	51,772		L／年以下			L／年以下	L／年以下			
	化石燃料合計<L>		51,582	56,043	×	51,582	51,582			
	53,731		L／年以下			L／年以下	L／年以下			
	計(kg-CO ₂)	141,405		135,721	147,953	×	135,721	135,721		
	kg-CO ₂		kg-CO ₂ ／年以下			kg-CO ₂ ／年以下	kg-CO ₂ ／年以下			
2	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量		基準値に対し 5 %削減			基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 5 %削減		
		432		410	360	○	410	410		
kg		kg／年以下				kg／年以下	kg／年以下			
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 0 %削減			基準値に対し 0 %削減	基準値に対し 0 %削減		
		6.00		6.00	7.00	×	6.00	6.00		
m ³		m ³ ／年以下				m ³ ／年以下	m ³ ／年以下			
4	収集運搬車燃費向上(2019年 10～12月基準)	収集運搬車燃費		基準値に対し 3 %向上			基準値に対し 3 %向上	基準値に対し 3 %向上		
		4.49		4.62	4.44	×	4.62	4.62		
km/l		km/l以上				km/l以上	km/l以上			
5	回収業務の効率化	データなし		ルートの見直し	実施	○	ルートの見直し	ルートの見直し		
				取り漏れ低減	実施	○			取り漏れ低減	取り漏れ低減
				回収の集約	実施	○			回収の集約	回収の集約

※二酸化炭素排出係数は2017年東京電力エナジーパートナー(株)調整後排出係数0.462kg/kWhを適用した。

※年度表記は1月～12月の会計年度と同一期間を適用した。

※化石燃料合計は軽油に換算した値である。

※電気使用量の増加は24時間稼働の防犯カメラを設置したためである

5. 環境経営計画及び実施状況(2024年)

エコアクション21

No	環境目標項目		基準	年間目標値	CO ₂ 排出係数	環境目標活動項目	責任者	担当者	実績評価項目		R6年1月	R6年2月	R6年3月	R6年4月	R6年5月	R6年6月	R6年7月	R6年8月	R6年9月	R6年10月	R6年11月	R6年12月	期間計	
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	電力使用量 2018年基準 6,017 ＜kWh＞	基準値の 5 %削減 5,716 ＜kWh以下＞	0.462	①使用していないエリア・時間の消灯	武田俊広	武田俊広 武田豊	電力 kWh	活動予定	①②実施													
						②不使用機器のコンセントを抜く				20℃以下に設定					28℃以上に設定									
						③空調の適温化（暖房20℃、冷房28℃）																		
										進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○						
										目標値	476	476	476	476	476	476	476	477	477	477	5,716			
										目標累計	476	952	1,428	1,904	2,380	2,856	3,332	3,808	4,285	4,762	5,239	5,716		
										実績値	700	586	589	462	451	520	717	935	838	509	440	532	7,279	
										実績累計	700	1,286	1,875	2,337	2,788	3,308	4,025	4,960	5,798	6,307	6,747	7,279		
										達成評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	7,279		
		2)化石燃料使用量の削減	化石燃料使用量 2019/10～ 12基準 140 ガソリン ＜L> 2,028 軽油 ＜L> 51,772	基準値の 4 %削減 134 ガソリン ＜L> 1,947 軽油 ＜L> 49,701	2.49	①エコドライブの励行	武田俊広	高島菊池 伊藤春山 佐藤	化石 燃料	活動予定	①③④実施													
						②定期的車両整備を実施				②全車両実施														
						③タイヤの空気圧を適正値に保つ				進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
						④公共交通機関の活用				灯油 L	目標値	70	64	0	0	0	0	0	0	0	0	134		
						⑤通勤方法の工夫				実績値	74	80	47	0	0	0	0	0	0	0	0	201		
										ガソリン L	目標値	162.0	162.0	162.0	162.0	162.0	162.0	162.0	162.0	163.0	163.0	163.0	1,947	
										実績値	154.02	162.08	170.51	199.11	164.76	148.29	190.04	121.40	165.65	145.66	134.77	155.25	1,912	
										軽油 L	目標値	4,141	4,141	4,141	4,142	4,142	4,142	4,142	4,142	4,142	4,142	4,142	49,701	
										実績値	4,264	4,346	4,305	4,283	4,461	4,432	5,205	4,784	4,782	4,438	4,287	4,543	54,130	
										合計 L(軽油)	目標値	4,354	4,348	4,287	4,288	4,288	4,288	4,288	4,288	4,289	4,289	4,289	51,581	
										目標累計	4,354	8,703	12,989	17,277	21,565	25,852	30,140	34,428	38,715	43,004	47,293	51,581		
										実績値	4,474	4,569	4,504	4,462	4,609	4,565	5,376	4,893	4,931	4,569	4,408	4,683	56,043	
										実績累計	4,474	9,043	13,546	18,009	22,618	27,183	32,559	37,452	42,383	46,952	51,360	56,043		
										達成評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
										CO ₂ 排出 kg	目標値	11,454	11,439	11,280	11,282	11,282	11,282	11,282	11,282	11,283	11,285	11,285	11,285	135,720
										目標累計	11,454	22,893	34,172	45,454	56,736	68,019	79,301	90,583	101,865	113,150	124,435	135,720		
										実績値	11,866	12,058	11,892	11,726	12,099	12,019	14,201	13,056	13,110	12,023	11,576	147,953		
										実績累計	11,866	23,924	35,816	47,542	59,641	71,661	85,862	98,918	112,028	124,050	135,626	147,953		
										達成評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		計	CO ₂ 排出量 141,405 ＜kg-CO ₂ 以下＞	CO ₂ 排出量 135,721 ＜kg-CO ₂ 以下＞	〔数値目標/実績〕					CO ₂ 排出 kg	目標値	11,454	11,439	11,280	11,282	11,282	11,282	11,282	11,283	11,285	11,285	11,285	135,720	
											実績値	11,454	22,893	34,172	45,454	56,736	68,019	79,301	90,583	101,865	113,150	124,435	135,720	
											実績累計	11,866	12,058	11,892	11,726	12,099	12,019	14,201	13,056	13,110	12,023	11,576	147,953	
											達成評価	11,866	23,924	35,816	47,542	59,641	71,661	85,862	98,918	112,028	124,050	135,626	147,953	
											達成評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物 総排出 量 432 ＜kg＞	基準値の 5 %削減 410 ＜kg以下＞			①紙類使用量の削減	社長	社長	一般 廃棄物 排出量 kg	活動予定	①②実施													
						②分別収集、リサイクルの推進				進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
										目標値	30	30	40	40	40	30	30	30	30	40	410			
										目標累計	30	60	100	140	180	210	240	270	300	330	370	410		
										実績値	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360		
3	水使用量の削減	水道使用量 6.00 ＜m ³ ＞	基準値の 0 %削減 6.00 ＜m ³ 以下＞			①手洗いや洗い物、洗車時の節水	武田俊広	武田 豊	水 使用量 m ³	活動予定	①②実施													
						②漏洩点検				進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
										目標値		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	6.00			
										目標累計	0.00	1.00	1.00	2.00	2.00	3.00	3.00	4.00	4.00	5.00	5.00	6.00		
										実績値	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	2.00	7.00		
4	収集運搬車燃費向上	収集運搬 4.49 ＜km/l＞	基準値の 3 %向上 4.62 ＜km/l以上＞			①エコドライブの励行	武田俊広	高島菊池 伊藤春山 佐藤	燃費 km/l	活動予定	①②③④実施													
						②定期的車両整備を実施				進捗評価											○			
						③タイヤの空気圧を適正値に保つ				目標値	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62		
						④回収業務の効率化				目標累計	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62	4.62		
										実績値	4.56	4.39	4.69	4.80	4.61	4.56	3.99	4.22	3.98	4.52	4.81	4.37	4.44	

5	回収業務の効率化	回収業務 の効率化	回収業務 の効率化	①ルートの最適化、見直し	武田俊広	高島 菊池 伊藤 春山	回収 業務 の効 率化	ルートの見直し										■											
				②取り漏れ低減				取り漏れ低減																					
				③回収の集約				回収の集約						■									■						
								進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
管理項目 実施したら○を記載	環境教育 一般教育 環境方針・目標・活動計画の周知				社長	武田豊																							
	技能伝承教育				社長	武田俊広			○																				
	緊急事態対応訓練				武田俊広	武田豊																	○						
	環境関連法規等の見直し、遵守評価				社長	武田豊							○																
	空調室外機の簡易点検				武田俊広	武田豊		○						○						○									
	定期的確認評価（コメント記載）				社長	武田豊			○																				
	代表者による全体の評価と見直し				社長				○																				
	環境活動レポートの作成、公表				社長	武田豊			○																				

注1)電力の二酸化炭素排出係数は東電2017年実績を適用
注2)回収業務の効率化の環境目標活動項目を実施したら○を■に塗りつぶすこと

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No	環境経営目標項目		目標達成手段	取 組		次年度の取組内容
				結 果	評 価	
1	二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量の削減	①使用していないエリア・時間の消灯	・事務所天井蛍光灯を50%間引いた。 ・プリンターを常時ONから待機モードにした。 ・空調の適温化(冷房28℃、暖房20℃)を行った。 ・屋外灯をLED化した。 ・トイレ排気を使用時のみとした。 ・休憩室の暖房をエアコンから石油ストーブにした。 ・事務所の除湿器利用を控えた。 ・未達理由としては2023年度に引き続き防犯カメラの24時間監視のための電気使用量の増加が考えられる	○	①②③④を継続する。
			②不使用機器のコンセントを抜く			
			③空調の適温化(冷房28℃、暖房20℃)			
			④駐車場照明を徐々にLEDに変更			
		化石燃料消費量の削減	①エコドライブの励行	・エコドライブの励行を社員教育時に徹底した。 ・特にアイドリングストップ、急発信急加速防止を励行した。 ・6か月整備の車両に3か月目、9か月目の自主整備を追加した。 ・空気圧は毎日目視確認しているが、整備時に詳細調整を行う。 ・遠距離の事務用外出は公共交通機関を利用した。 ・車両ごとの消費量を把握することにした ・未達理由としては収集個所の頻繁な変更による収集効率の悪化や車両が旧式なため燃費向上が図れない等の要因がある。	○	①②③④⑤を継続する。
			②定期的車両整備を実施			
			③タイヤの空気圧を適正値に保つ			
			④公共交通機関の活用			
			⑤車両ごとの燃料消費を把握する。			
		廃棄物排出量の削減	①紙類使用量の削減	・裏紙使用を推進した。 ・飲料は購入せずに自分の水筒を利用した。 ・A4用紙、封筒類はまとめてリサイクル化を推進した。	○	①②を継続する。
			②分別、リサイクルの推進			
		水使用量の削減 <水道使用量:㎡>	①手洗いや洗い物、洗車時の節水(流し放しにない)	・帰宅時に蛇口からの漏洩がないことを点検している。	○	①②を継続する。
			②漏洩点検			
4	収集運搬車燃費向上		①エコドライブの励行	・「化石燃料消費量の削減」と同じ手段を推進した。 ・新規車両購入の際には低燃費車を選択している。 ・行政の回収業務の車両の燃費を別に把握した。 ・未達理由としては収集個所の頻繁な変更による収集効率の悪化や車両が旧式なため燃費向上が図れない等の要因がある。	○	・行政の回収業務においては市内の10～20mおきの集積場所を1日に数百か所も巡る。その度にスタート/ストップ/低速走行を繰り返すため、燃費が著しく悪い。今後も回収業務の効率化を図る。
			②定期的車両整備を実施			
			③タイヤの空気圧を適正値に保つ			
			④回収業務の効率化			
5	回収業務の効率化		①ルート最適化、見直し	・行政回収の追加地域について、回収場所を事前に巡回視察して最適ルートを見極めてから決定した。 ・取り漏れを年間15件以内に抑える。 ・事業系/自治体の廃棄物回収は近隣複数の箇所が特定日にまとまるように調整を行った ・本年の事故は1件であった。 - 原因は収集業務のため降車したところ、ドアが強風にあおられフェンスと接触したもので、対応は強風時はドアの開閉に注意する	○	①②③④を継続する。
			②取り漏れ低減			
			③回収の集約			
			④回収時の事故の回避			

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

区分	環境関連法規等名称	遵守状況確認・評価	
		チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (一般廃棄物、産業廃棄物、再生資源の収集運搬業)	2025/3/25	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (一般廃棄物、産業廃棄物の排出)	2025/3/25	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	2025/3/25	○
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 (小型家電リサイクル法)	2025/3/25	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	2025/3/25	○
大気汚染	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法) フロン排出抑制法	2025/3/25	○
労働安全	労働安全衛生法	2025/3/25	○
条例	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	2025/3/25	○

当社に關係する環境関連法規等は上記の通りですが、遵守状況を2025年3に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し実施日	2025年3月31日	(☒ 定期見直し ☐ 臨時見直し)		
見直し対象期間	2024年1月 1日 ~ 2024年12月31日			
出席者	代表者、環境管理責任者、部門責任者			
前回の見直し記録より指示への取組結果	A-1 産業廃棄物と一般廃棄物及び再生資源の回収量をダブルカウントせずに記載した。 A-2 フロン排出抑制法を再度理解し、法規制要求事項及び遵守事項を詳細に記載した。 A-3 3年間未達であった環境経営目標を見直し、適切な環境経営目標と計画を策定した			
見直しに必要な情報	①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等取りまとめ表兼遵守確認評価表による) ②環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果(環境経営計画兼実績書による) ③適用範囲、実施体制 ④問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正／予防処置報告書による) ⑤外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による) ⑥その他(法規制の動向の情報等)			
代表者による評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】 (①、③、④、⑤等を踏まえて評価) 法規制の遵守には問題がなく、外部からの苦情や要望も特になく、実施体制を確立し教育訓練及び内部コミュニケーションを適切に実施し、環境経営計画を策定して環境負荷低減に取り組んでおり、環境経営システムが有効に機能している。燃費未達の要因としては収集個所の頻繁な変更による収集効率の悪化や車両が旧式なため燃費向上が図れない等であるが、今後もエコドライブを継続する。 【環境経営への取組が適切に実施されているか】 (②等を踏まえて評価)			
	目標項目	目標達成状況	経営計画実施状況	目標・経営計画実施状況の評価(達成の場合:目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合:原因の明確化、次年度の目標や対応策)
	二酸化炭素排出量の削減	×	○	防犯上の理由から24時間稼働のカメラを設置したため電気使用量が増え、また収集地域の拡大により、動車燃料消費量が増大し目標が未達になった。事業上やむを得ないと考ええる。
	廃棄物排出量の削減	○	○	事業拡大で紙使用量は増えたが、この期の排出は増えていない。
	水使用量の削減	×	○	本社での水使用量は節水に努め基本料金内である。駐車場には水道設備がなく隣の企業の井戸水を使用させていただいている。
	収集運搬車燃費向上	×	○	各車両ごとに燃費の確認と前年値比較を行い燃費動向を観察した。また、古くて燃費の悪い車両を可能な限り入替を行う。
	回収業務の効率化	○	○	運行ルート最適化、取り漏れ低減、回収の集約化には努めた。
代表者による見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項	【環境経営方針】 変更の必要性 : ☐有 ☒無 電気使用量と燃費の課題はあるが、その他に特に問題点が特になかったので、引き続き同じ管理を続けるものとする。 【環境経営目標及び環境経営計画】 変更の必要性 : ☒有 ☐無 未達が続いているため、環境経営目標の基準年度を見直し計画の実現を図る 【実施体制】 変更の必要性 : ☐有 ☒無 エコアクション21活動は問題なく実施されているので、この取組実施体制を継続させるが。 【環境経営システム等】 変更の必要性 : ☐有 ☒無 問題なく実施されたので、継続させる。 【総括】 この活動を継続発展させるためには社員の意識継続・向上が必要なので、そのための教育・訓練を計画的に行っていく。			

注)①定期的(少なくとも毎年1回)に実施すること。登録審査の場合は、臨時に行うこと。

②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度(登録審査の場合は登録の運用期間)の見直しをすること。

③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。